

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで )

### 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立日高少年自然の家	
(2) 施設の設置目的	
豊かな自然環境の中で行う集団宿泊生活及び諸活動を通じて少年(20歳未満の者をいう。)の心身の健全な育成を図るため	
(3) 所管部局	
子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども育成課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人大阪YMCA	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和4年3月31日まで(令和4年3月31日付け廃止)	
(6) 主な事業	
・ 青少年を対象とする集団宿泊訓練及び自然学習等	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
指導者が引率する少年の団体等	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
和歌山県立白崎青少年の家、大阪府立青少年海洋センター	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	コロナ禍による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置発令により、日程の変更や宿泊から日帰りへの変更希望が多くあったが、できる限り利用者の希望に沿うよう対応した。消防訓練や津波避難訓練、危機管理研修等各種研修を行い、利用者の安全確保に努めた。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	団体数や利用者数等により適切な人員配置を行い、各種研修を行い人材育成にも努めた。4月～6月の臨時閉館中も定期的に浴場循環装置・エアコン・船舶エンジン等の定期的稼働、各部屋の換気などの維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	日高の魅力を発信するため、週1回程度のSNSの更新を心掛け、周辺の四季折々の自然環境や多種多様な生き物の話題、利用時の活動の様子、主催事業のトピックスなどの発信を行った。また館内にて海岸で採取した魚類や昆虫類、アマガエルなどの生体展示を行い身近に自然を感じてもらい取り組みを行った。
その他特筆すべき取組	昨年度に引き続き、和歌山県立博物館の協力を得て、磯観察時の学芸員派遣プログラムを利用団体に対して案内した。

## イ 市による状況分析

新型コロナウイルスの影響を受けたが、柔軟な対応や休館中の適切な維持管理に努めていた。また、SNSの積極的な活用や館内での展示など効果的な魅力発信に努めていた。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	
利用者数(単位:人)	28,144	27,434	3,615	6,193	
稼働率(単位:%)	62.1	65.3	27.3	43.5	
利用者満足度(単位:%)	97.0	90.9	97.6	91.5	

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	天候や海の状態に柔軟に対応できるよう、研修等を行い実践した。またコロナの影響に伴う日程変更や宿泊から日帰りへの利用変更についても、できる限り柔軟に対応し、利用者に満足していただいた。
意見・苦情・要望等への対応	施設利用者アンケートを実施し、記載されている事柄について即応できるものについては対応した。
その他特筆すべき取組	施設独自の新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに基づき利用時の一部制限などの対応を利用者にお願いしたが、ご理解いただき利用時の安全・安心を確保することができた。

## ウ 市による状況分析

・利用者からの日程や利用内容の変更に対応することで、利用者数は昨年度実績を上回ることができ、利用者満足度についても高水準を維持することができていた。  
 ・施設独自の感染予防ガイドラインによる適切な施設運営に取り組んだことで、集団感染(クラスター)が発生するような事態はなかった。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	
収入	指定管理料	54,500,000	55,005,000	55,510,000	60,226,022	
	利用料金	8,627,900	8,586,600	1,355,530	2,130,750	
	負担金	0	0	0	0	
	その他	18,942	17,348	1,642,552	254,955	
合 計		63,146,842	63,608,948	58,508,082	62,611,727	
支出	人件費	38,983,857	40,026,948	39,851,181	42,976,846	
	委託料	9,727,878	9,737,773	6,845,477	10,038,691	
	総支出額に占める 委託料の割合	15.0%	14.8%	11.8%	15.6%	
	修繕費	369,671	771,376	517,670	341,317	
	光熱水費	8,132,608	8,188,820	4,458,668	5,544,256	
	その他	7,505,467	6,955,502	6,586,210	5,564,301	
合 計		64,719,481	65,680,419	58,259,206	64,465,411	
収支差額		-1,572,639	-2,071,471	248,876	-1,853,684	
(市への納付金の額)		—	—	—	—	
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収 入		4,293,650	3,274,300	1,457,300	2,233,360	
支 出		4,216,215	3,537,941	1,304,421	2,050,751	
収支差額		77,435	-263,641	152,879	182,609	
(市への納付金の額)		—	—	—	—	

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	コロナ禍による利用が減る中、光熱水費や消耗品等の削減に努めた。
------------	---------------------------------

## ウ 市による状況分析

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、利用者ニーズに柔軟に対応することで、利用者数と利用料金収入の増加に寄与した。
--

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
市内小学校利用校数	55校以上	3校
その他市内団体利用団体数	40団体以上	10団体
利用者数(延べ)	年間35,000人以上	6,193人

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者満足度	70%以上	91.5%

## ■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	11,000,000円以上	2,130,750円

## イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少が大きな要因で、仕様書に定めるほとんどの項目が目標達成には至らなかったが、利用者ニーズに柔軟に対応することで満足度は目標を大きく上回る成果を得た。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	4月から6月下旬までの緊急事態宣言による休館、夏のまん延防止等重点措置により、利用団体・自主事業とも大きな影響を受けた。その状況の中でも日々の経費削減や施設の維持管理に努めた。	利用者数や利用料金収入などの目標はコロナ禍による不可抗力で未達となったが、利用者ニーズへの柔軟な対応や休館中の適切な維持管理に努めた結果、利用者満足度は目標を大きく上回ることができたことから、本市が求める水準に達したと評価する。
今後の取組	-	-

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの